

このまちの100年

「二子玉川」

二子玉川は、江戸中期以降、大山詣でにぎわった大山道が、多摩川を渡る二子の渡しがあつた地です。明治後期以降は、料亭などが立地するようになり、玉川遊園地なども建設され、行楽地へと発展しました。



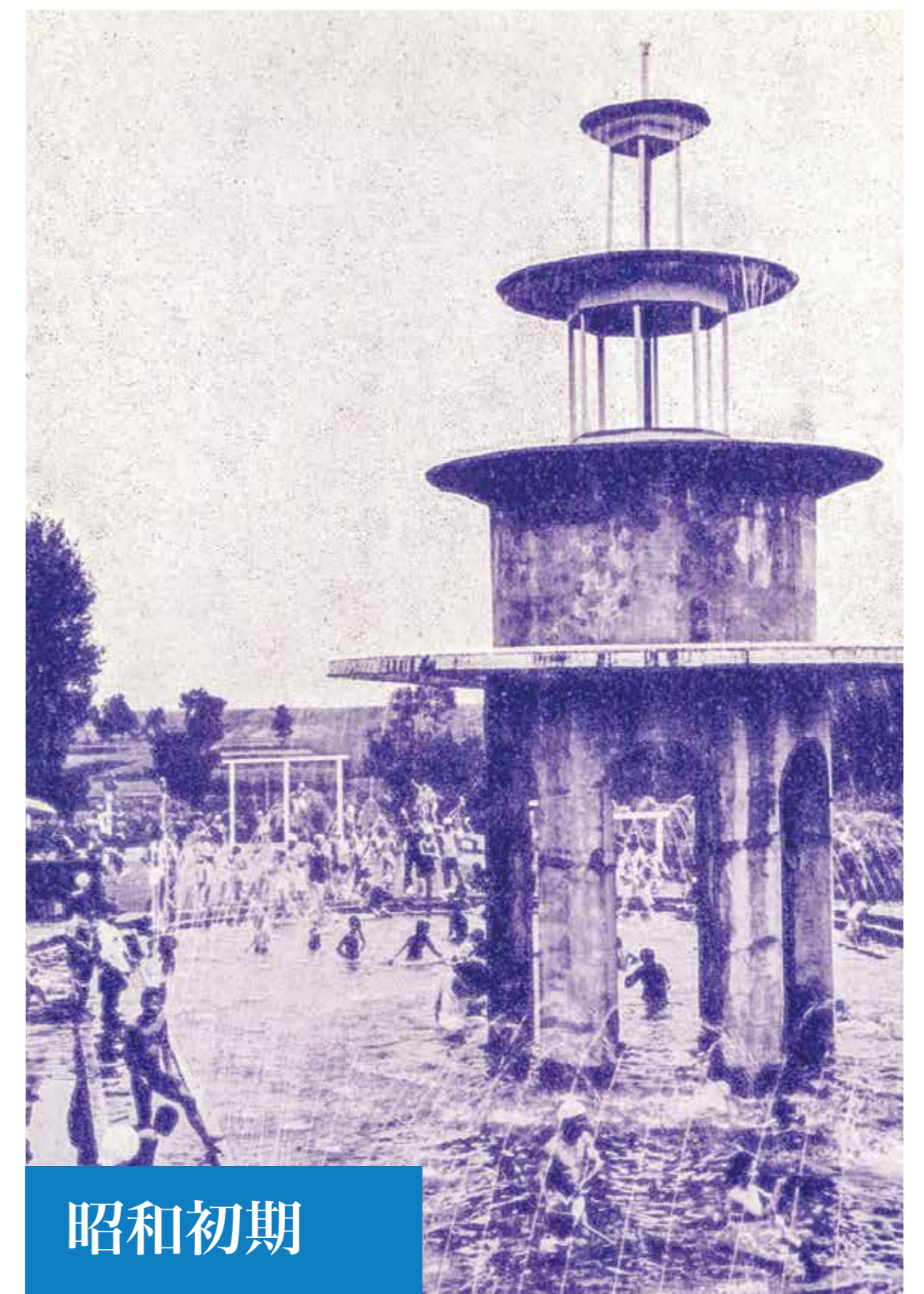
大正期～昭和初期

多摩川は、鮎の産地として知られ、徳川将軍家にも献上された。鮎漁を楽しむための屋形船と老舗料亭である柳屋が写る風景



大正前期

玉川遊園地の奥にあつた、玉川閣。大正博覧会で不要になった京都の清水寺の模造建築物を移築した



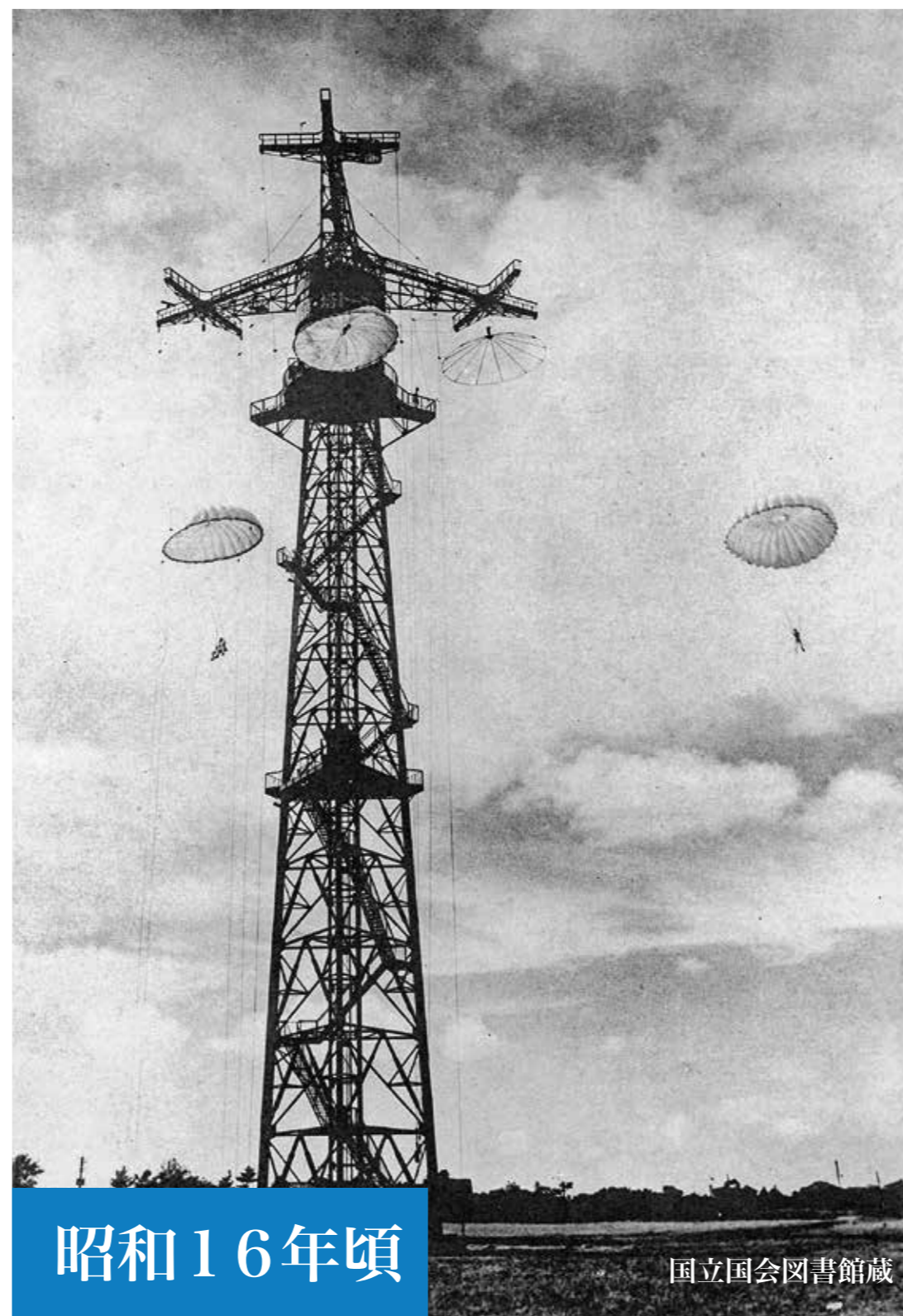
昭和初期

玉川児童園の南側には玉川プールも開場された



昭和14年頃

岡本・瀬田・野毛あたりには、実業家などの別荘や邸宅が多く建てられた



昭和16年頃

よみうり遊園の南東側に、パラシュート降下を楽しめる読売大落下傘塔開設された



昭和36年

昭和31年、野毛大塚古墳周辺は都立公園として整備された。当時の玉川野毛町公園には野球場があつた

上空からみた二子玉川エリア



昭和23年



昭和54年



平成29年

 : 玉川高島屋 S・C
  : 読売遊園跡地／二子玉川園／二子玉川ライズ
  : 二子玉川駅／二子玉川園駅／二子玉川駅

 : 現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ